

インドの原発周辺で起こっていること、そして日本は・・・？

## 「ハイ・パワー 大いなる力」上映+インドウルカー監督トーク

8月2日(土) 上映+監督トーク 17:00～18:30 (開場16:30)

交流カフェ 18:45～20:00 会場:谷中の家 (東京都台東区谷中3-17-11)



東京電力福島第1原発の事故収束もおぼつかないまま、原発の輸出をやめない日本。とくにすさまじい経済成長を遂げているインドに対して、日印原子力協定締結に向けた動きが強まっています。そんな中、インドで最も古い原発、タラプール原発（1964年建設）と周辺に暮らす人々を短編映画「ハイ・パワー」にまとめたプラディーブ・インドウルカー監督が来日します。この機会にぜひ、映画と監督のお話でインドの原発事情を知り、語り合しましょう。

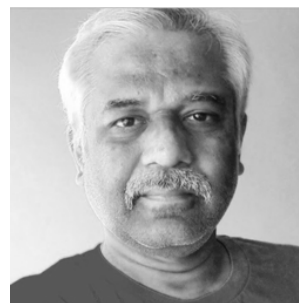
### ■映画「ハイパワー 大いなる力」

1964年建設のタラプール原子力発電所は、インドで最も古い原発。当時は熱狂的に迎えられ、地元の人々はその発電所を「ハイ・パワー」（大いなる力）と呼んだ。しかし原発周辺の住民は貧困や病に苦しみ、約束されたはずの夢とはかけ離れた苦境の中で生きている。インドが国策として進めてきた原子力発電所とは何だったのか？ 都市に住む人間として葛藤する主人公の目を通して、タラプールに起こった出来事を描き出す。  
(2013年/インド/27分)

[http://badseaweed.wordpress.com/2014\\_highpower\\_japan/](http://badseaweed.wordpress.com/2014_highpower_japan/)

### ■プラディーブ・インドウルカー監督

機械工学の専門家、科学技官として、1980年代よりBARCバーバ原子力研究センターに12年間勤務。1994年、自身の体調悪化を感じて同センターを退所後、環境教育者としての活動を開始。2009年、ジャイタプール原子力発電所に関わる運動に加わり、反原発の立場から2年かけて「ハイ・パワー 大いなる力」を完成させた。



## ●谷中の家●

### ■プログラム&参加費

【上映+トーク】参加費1000円/定員:30名  
17:00~17:30 「ハイ・パワー：大いなる力」上映  
17:30~18:30 プラディーブ・インドゥルカー監督トーク

【交流カフェ】参加費：500円/定員：20名  
\*軽食+ワンドリンク付・上映+トーク参加の方を優先します  
18:45~20:00 インドゥルカー監督を囲んで交流会

### ■会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）

メトロ千代田線千駄木駅・JR日暮里駅・JR西日暮里駅下車徒歩7分。よみせ通り、延命地蔵を東へ入る、2筋目を南へ入って東側2軒目。

### ■予約方法：以下いずれかの方法で予約してください。

#### 1. 申込みフォーム

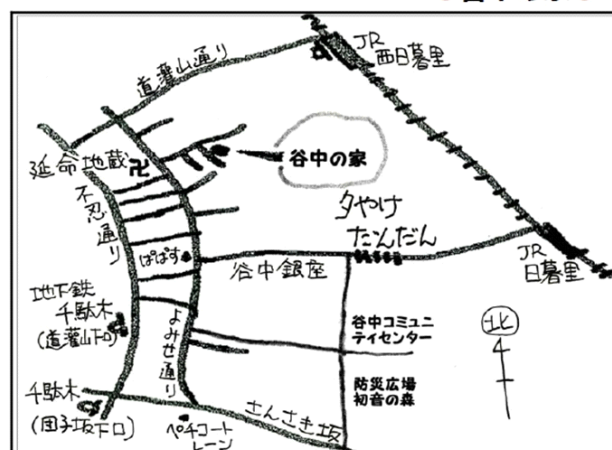
- ・上映+トーク：<http://kokucheese.com/event/index/196347/>
- ・交流カフェ：<http://kokucheese.com/event/index/196349/>

#### 2. メール [tukiichieigasai@jtgt.info](mailto:tukiichieigasai@jtgt.info)

\*件名を「月1原発映画祭申込み」として参加者氏名（複数お申し込みの場合は全員のお名前をお書きください）、参加内容（上映+トーク、交流カフェ）を明記してください。

#### 3. 電話 090-1265-0097（うえまつ）

\*キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください。



### 参考★タラプール原発について

ムンバイから北へ約100キロに位置する原子炉4基と使用済み燃料の再処理工場。1号機と2号機は米ゼネラル・エレクトリック(GE)製で、同じGE製の福島第一の原子炉「マークI」より古く、現存する沸騰水型軽水炉では世界最古。

### 参考★インドの原子力政策について

インドには、現在6か所に20基の原子炉があるが、自国のウラニウム資源が乏しいため、トリウムを使用した核燃料サイクルの開発をおこなってきた。核不拡散条約(NPT)、包括的核実験禁止条約(CTBT)にも加盟していないため、核兵器開発につながる原子力技術の国際貿易の議論からはずされてきた。過去20年間で国内のエネルギー消費量が倍増したことを理由に、日印原子力協定を皮切りに積極的な原発開発を画策している。



### 月1原発映画祭について

毎月1回、原発に関連した映画・映像を上映し、併せて交流カフェを開催、ゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供しています。いろいろな考えの方が気軽に参加できる会をめざしています。

【これまでの開催内容】(ひがし広場HPのメニュー「月1原発映画祭」(<http://www.jtgt.info/?q=taxonomy/term/1>)のページ右側にある「これまでの映画祭/交流カフェ」から開催レポート等をご覧ください)

【2012年】第1回「原発、ほんまかいな？」上映■第2回「絶対！原子力戦隊スイシンジャー」路上ライブ+上映/ゲスト：尾米タケル之一座■第3回「シェーナウの想い」上映/ゲスト：山木きょう子、彦根アンドレア他■第4回「真実はどこに？—WHOとIAEA放射能汚染を巡って」上映/ゲスト：岩城知子■第5回「内部被ばくを生き抜く」上映/ゲスト：権上かおる■第6回「シェーナウの想い」アンコール上映「未来への決断～ノーモア原発 Part3 エネルギーの未来を創る挑戦」上映+ドイツ視察報告/ゲスト：彦根アンドレア、田島正城■第7回「フタバから遠く離れて」1日リレー上映会/ゲスト：船橋淳、双葉町の方■第8回「みえない雲」上映/ゲスト：高田ゆみ子

【2013年】第9回「ネコマチッタ物語」上映+げんぱつかるた大会/ゲスト：小嶋伸■第10回「フクシマからの風」「田神有楽」上映/ゲスト：加藤鉄■第11回「福島の子もたちの現在(いま)、そして未来(これから)」/ゲスト：藍原寛子■第12回「フタバから遠く離れて」アンコール上映/ゲスト：船橋淳■第13回「スタッフ勉強会」■第14回「夏休みの宿題は終わらない」/ゲスト：倉岡明子■第15回「スタッフ勉強会」■第16回「こんにちは真寮」/ゲスト：李怡修■第17回「スタッフ勉強会」■第18回「100,000年後の安全」/ゲスト：澤井正子■第19回「こんにちは真寮」アンコール上映/ゲスト：陳威志■第20回「閻魔(交流会)」

【2014年】第21回「お正月げんぱつかるた大会」/ゲスト：古知屋恵子■第22回「シェーナウの想い」アンコール上映+市民立江戸川発電所見学報告■第23回「福島の除染現場と甲状腺検査を追う」/ゲスト：権上かおる・菊池京子■第24回「原発の町を追われて～避難民・双葉町の記録」上映/ゲスト：堀切さとみ■第25回「ネットから視聴できる原発関連動画のピックアップ」■第26回「原発20キロ圏内に生きる男」他上映/ゲスト：松村直登・藍原寛子■第27回「A2-B-C」上映/ゲスト：イアン・トーマス・アッシュ

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場  
<http://www.jtgt.info/>